




市報

# ちぐまや

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

 [koho@city.yamaguchi.lg.jp](mailto:koho@city.yamaguchi.lg.jp)

「行革」で次世代につなぐまちづくりのバトン P.2  
平成18年度上半期財政公表 P.5

形民俗文化財  
戸神  
熊野神社 岩戸



2006 11.1

November  
No.26

市指定無形民俗文化財 岩戸神楽  
(10月8日・小郡上郷 熊野神社)

# 「行革」で次世代につなぐ まちづくりのバトン

行政改革

国の「三位一体の改革」などにより、国と地方との関係が大きく変化する中、地方自治体には、より効率的・効果的な行政運営が求められています。本市でも、次世代に「豊かな山口市」を託せるよう、厳しい財政状況の中で、行政サービスの維持と財政の効率化を両立させるさまざまな計画を策定し、行政改革に取り組んでいます。

## 「市集中改革プラン」 「市定員適正化計画」を策定



市では、現在策定が進められている、本市のまちづくりのあり方を示す「**山口市総合計画**」に掲げる施策を、より効率的・効果的に展開するため、今年度末をめどに「**山口市行政改革大綱**」の策定を行うこととしています。

このたび市が策定した「**山口市集中改革プラン**」は、「山口市行政改革大綱」の中でも集中的・重点的に行うべき項目を挙げた先導的な計画で、平成17年3月に国が示した「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指

針」に基づく行政改革に取り組むためのものです。

平成18～22年度の5力年で、約56億円の財政抑制効果を見込んでいます。

また、「**山口市定員適正化計画**」では、退職・採用者数の見込みを明らかにし、職員数の適正化に取り組めます。

これらの計画に基づき、市が取り組む行政改革の推進方策を紹介します。



### 民間委託等の推進

行政が担うべき役割を明確にし、行政が一定の関わりを持ちつつ、民間企業や住民が「公共サービス」の提供を担う、民間委託や地域との協働によるまちづくりなどを進めます。



#### ●「民間活用ガイドライン」の作成

市民サービスの担い手として、民間を積極的に活用していくためのガイドラインを作成します。

#### ●事業仕分けの実施

すべての業務において、市が直接実施する必要性を検討し、民間委託や民営化への方向性を明らかにします。

#### ●民間化推進実行計画の策定・推進

民間委託や民営化を計画的に推進します。

#### ●民間活用方法の研究

業務内容などに応じた、民間活用方法の研究を進めます。

#### ●指定管理者制度の活用

公の施設の管理運営を民間にゆだね、民間のノウハウを活用した施設運営により、市民サービスの向上や経費削減を図ります。

【数値目標】年間1億円\*の削減

【財政効果】約3億円

「官から民へ」  
円滑にバトンタッチ



### 事務・事業の 再編・整理・廃止・統合

コンピューターネットワークによる内部業務の集約化や簡素化を図るとともに、職員一人ひとりが常に改革意識を持って事務改善に取り組み、限られた予算・人材などの有効活用を図ります。

#### ●サービス供給体制の見直し

各総合支所単位などで行われている現在の市民サービスの供給体制を見直し、効果的・効率的に提供できるよう再編します。

#### ●「行政評価システム」の再構築

成果を重視した事業評価を行い、事業の必要性などを考慮しながら、事務・事業の取捨選択を進めます。

#### ●「包括的予算制度」の再構築

行政評価システムと連動しながら施策への予算配分にめりはりを付け、予算を有効活用します。

#### ●補助金等の見直し

補助金の支出に関する基準などを定め、見直しを行います。

#### ●電子自治体構築計画の策定・推進

情報の電子化などによる内部業務の効率化を進めるとともに、電子申請サービスなどを拡充します。

#### ●内部業務経費の削減

施設管理などの固定的な経費を節減します。

【数値目標】年間1億円\*の削減

【財政効果】約4億円

#### ●事務改善推進員制度の再構築

各課の事務改善推進員を中心に、職員の業務改善意識を向上させます。

\*【数値目標】に記載した年間額は、最終年度ベースです。



## 職員給与等の適正化

職員の給与や勤務条件について、社会・経済情勢の変化に適切したものとなるよう見直します。



### ●給与制度の見直し

国をはじめ、県や他市の状況などとの均衡を図り、市民から一層の理解が得られるような給与制度を確立します。

【財政効果】約11億円

### ●職員手当等の見直し

特殊勤務手当などの職員手当や旅費の支給額を見直し、削減します。

【数値目標】年間1億3000万円\*の削減

【財政効果】約4億円

### ●福利厚生事業の見直し

職員の健康増進や福利向上などを目的とした事業内容を精査し、個々の事業に係る基準や金額などを見直します。

公平で透明性のある  
制度を確立します



## その他の取り組み

### ●公共工事の経費縮減

公共工事の経費縮減に関する行動計画を策定し、さまざまな面から総合的な経費の縮減に取り組みます。

【数値目標】毎年度1億円ずつの削減

【財政効果】約10億円

### ●入札・契約制度の見直し

入札・契約制度のさらなる透明性・公平性を確保し、競争性の向上や入札手続の効率化に取り組みます。

### ●市税等の徴収率の向上

市税などの徴収体制の強化に全庁的に取り組み、滞納整理の推進などにより徴収率を向上させます。

【数値目標】徴収率98.0パーセント

【財政効果】約10億円

### ●都市計画税の調整

都市計画税の税率などを、市域全体で統一的に調整します。

### ●使用料・手数料等の見直し

個々の行政サービスの受益者が負担すべき適正な割合を明らかにするなど、負担や減免に関する基準を定め、使用料・手数料等を見直します。

### ●市有財産の有効活用

土地や建物の売却や貸し付け、また民間広告の掲載など、市が持つあらゆる財産の有効活用に取り組みます。



## 定員管理の適正化

合併により見込まれた職員数の削減に加え、厳しい財政状況の中で、市民サービスを効果的・効率的に提供するために、個々の職員的能力向上に取り組むとともに、「山口市定員適正化計画」に基づき、職員数の適正化を図ります。



### ●職員的能力向上

人材育成のための基本的な方針を定め、個々の職員的能力を向上させます。

### ●職員数の適正化

行政規模に応じた適正な職員数に向け、職員数を削減します。

【数値目標】118人削減（平成17年4月から目標年次である平成22年4月までに6.7パーセントを削減）

【財政効果】約14億円

■「市定員適正化計画」における年次別の職員削減目標（単位：人）

	平成17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	累計
職員数	1,741	1,741	1,723	1,695	1,677	1,649	—
前年度退職者(A)	—	44	24	50	35	58	211
新規採用者数(B)	—	18	6	22	17	30	93
増減数(B)-(A)	—	-26	-18	-28	-18	-28	-118



## 第三セクター等の見直し

市が出資している第三セクター等について、その設置の目的や効果などから有効性・効率性を検証し、市の関与のあり方を見直します。



### ●自立的経営に関する指針の作成

第三セクター等が自立的に経営できるよう、経営改善の自主的な進め方を示すとともに、市の関与を見直すための統一的な指針を作成します。

健全経営を応援します

### ●経営健全化の促進

第三セクター等が、おおむね5年間の具体的な経営改善計画を策定するよう促します。

### ●公的関与等の見直し

前述の指針に基づいて、公的関与を見直し、必要に応じて統廃合や完全民営化を検討します。



# 「市財政運営健全化計画」を策定



現在、市では基金を取り崩して、財政運営を行っています。家計に例えると、貯金を取り崩しながら、やり繰りしている状態です。現状のままでは、平成20年度には、基金がなくなってしまう、健全な財政運営を行うことができなくなります。そこで市では、平成18～22年の5か年を期間とする「山口市財政運営健全化計画」を策定しました。これは、歳入に見合った歳出を基本とし、財源の確保と歳出の抑制により財源不足を解消し、5年間で黒字体質への転換を進めるものです【下グラフ参照】。

また、目標を達成するために財政の健全性を示す財政指標を設定します【下表参照】。

【表】■財政指標

	平成17年度	平成22年度目標
経常収支比率※	91.8%	90%未滿
実質公債費比率※	17.7% (単年度18.3%)	18%未滿

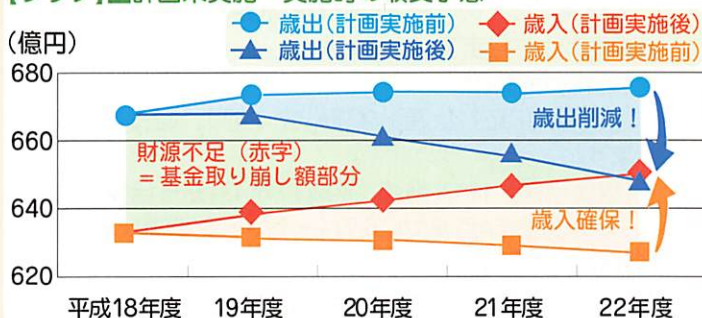
※経常収支比率（県内市平均91.7パーセント）

市の税金等が、人件費・公債費（借金の返済額）等の費用（固定経費）に、どれだけ充てられているかを示す比率です。この割合が低いほど財政にゆとりがあることを示します。

※実質公債費比率

下水道などの公営企業も含めた市全体の公債費（借金の返済額）と収入の割合を示す新しい指標です。3か年の平均値が18パーセントを超えると、市債の発行に国の許可が必要となり、25パーセントを超えると発行を一部制限されることとなります。

【グラフ】■計画未実施・実施時の収支予想



計画を未実施の場合 基金が0（ゼロ）！

平成22年度の収支  
【計画未実施の場合】

歳入627億円－歳出674億円＝－47億円  
（マイナス）

【計画実施の場合】

歳入650億円－歳出649億円＝＋1億円  
（プラス）

□の部分は、計画を実施した場合、歳出が歳入を上回る、財源不足の状況です。

さらに、この計画では、集中改革プラン（2～3ページ参照）の効果に加えて、約42億円の財政効果を見込んでいます。

計画の主な取り組みを紹介します。



## 歳入確保に向けた主な取り組み

- 企業誘致や市有財産の有効活用により、自主財源（市独自の収入）を増やしていきます。民間と力を合わせて【財政効果】約10億円 健全財政！



## 歳出削減に向けた主な取り組み

- 「行政評価システム」や「包括的予算制度」により事業を見直します。
- 特別会計（下水道などの独立した会計）においても徹底的な経費削減と業務の効率化などにより、経営努力を行っています。
- 市債（借金）の発行を抑え、公債費（借金の返済額）を抑制します。

【財政効果】約32億円

# 市民のニーズ（要請）にこたえる山口市に向けて

GOAL  
ゴール！



市民ニーズの実現を  
目指して！

これらの計画に基づき、徹底的な行財政改革に取り組むとともに、市民のみなさんのニーズを踏まえ、今後策定される「山口市総合計画」を推進します。みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

■問い合わせ

市行革推進課（☎083-934-2909）、市職員課（☎083-934-2727）、市財政課（☎083-934-2750）

※詳細は、市ホームページ（表紙参照）に掲載しています。

- ・山口市集中改革プラン…「行政改革大綱策定状況」から
- ・財政運営健全化計画…「市からのお知らせ」→「山口市のプロジェクト」から

住み良いまちを  
目指して



# 平成18年度上半期 財政公表

山口市の財政運営についてみなさんに理解していただくために、平成18年度上半期(4月1日～9月30日)の財政状況を公表します。

問い合わせ 市財政課(☎083-1934-12750)

## ◆一般会計

一般会計は当初予算647億6000万円です。スタートしましたが、その後、2億7952万6000円の追加補正を行い、9月末現在で総額650億3952万6000円となりました。

追加補正予算の主な内容は、自治会集会所等建設費助成事業に3021万6000円、休日夜間急病診療所運営事業に2342万6000円、山口学芸大学施設整備費助成事業に1億1000万円などです。

9月末現在の一般会計の歳入歳出状況は「表1」の通りで、収入済率43・4パーセント、執行済率43・5パーセントとなっています。

○平成18年度に実施または着手した主な事業

- 地域の個性を活かした新県都の創造
- 新山口駅ターミナルパーク整備推進事業
- 国民文化祭開催事業
- 安心・安全・快適な環境づくり
- ゆずり合い道路・くらしの道整備事業
- 明るいまちづくり推進事業
- まちの活力の創造

【表1】一般会計の収支状況(9月末現在)

歳 入			歳 出		
項 目	予算現額(万円)	収入済率(%)	項 目	予算現額(万円)	執行済率(%)
市 税	2,529,806	57.3	議 会 費	42,685	48.1
地 方 譲 与 税	208,200	42.6	総 務 費	803,063	50.6
利子割交付金	9,300	38.6	民 生 費	1,659,297	33.5
配当割交付金	3,000	120.1	衛 生 費	642,072	48.9
株式等譲渡所得割交付金	3,000	0.5	労 働 費	10,777	78.0
地方消費税交付金	205,300	51.1	農 林 水 産 業 費	334,122	37.2
ゴルフ場利用税交付金	8,400	34.2	商 工 費	159,639	61.0
自動車取得税交付金	41,500	29.5	土 木 費	1,074,407	36.3
地方特例交付金	60,900	107.6	消 防 費	241,651	47.8
地方交付税	1,074,000	66.1	教 育 費	639,351	57.2
交通安全対策特別交付金	3,500	0.0	災 害 復 旧 費	30,606	32.9
分担金及び負担金	105,136	39.3	公 債 費	1,015,010	48.5
使用料及び手数料	90,712	52.6	予 備 費	9,416	0.0
国庫支出金	547,965	21.7			
県支出金	371,494	15.8			
財 産 収 入	8,810	91.2			
寄 附 金	1,561	13.1			
繰 入 金	346,033	0.0			
市 債	750,360	4.4			
そ の 他	293,119	49.4			
合 計	6,662,096	43.4	合 計	6,662,096	43.5

※予算現額には、平成17年度からの繰越額15億8,143万円を含んでいます。

【表2】特別会計の収支状況(9月末現在)

会 計	予算現額(万円)	収入済額(万円)	執行済額(万円)	執行済率(%)
国民健康保険	1,622,353	466,867	809,606	49.9
老人保健医療	1,986,288	765,845	828,062	41.7
介護保険	1,155,720	497,620	439,290	38.0
介護サービス	1,653	892	1,653	100.0
下水道	829,868	140,795	534,146	64.4
土地取得	9,671	0	4,954	51.2
駐 車 場	5,293	2,155	3,034	57.3
小郡駅前第三土地区画整理	100,067	0	12,781	12.8
農業集落排水	141,385	4,866	102,890	72.8
漁業集落排水	3,962	174	1,966	49.6
交通災害共済	2,434	1,128	920	37.8
国民宿舎	41,795	20,374	19,682	47.1
特別林野	1,899	509	635	33.4
合 計	5,902,388	1,901,225	2,759,619	46.8

※予算現額には、平成17年度からの繰越額7億4,469万円を含んでいます。 ※利息は、利率見直し等により変動します。

- 西の京山口おもてなし事業
- 畜産担い手育成総合整備事業
- 笑顔あふれるまちづくり
- 地域包括支援センター運営事業
- 学校施設整備事業(小郡中学校ほか)
- 市民と協働するまちづくりと行財政改革の推進

## ◆特別会計

特別会計とは、公共下水道事業など特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区別して経理するための会計で、それぞれの歳入歳出状況は「表2」の通りです。

## ◆市有財産・市債

市有財産および市債の9月末残高は、「表3」「表4」の通りです。

【表3】市有財産現在高

区 分	9月末現在高	区 分	9月末現在高
土 地	649万2,494.83㎡	出資による利 権	12億8,004万7,645円 3,104.09㎡
建 物	61万7,228.21㎡	債 権	12億2,145万2,401円
山 林	1万5,362.19ha	基 金	155億4,221万6,268円
立 木	272万9,571㎡	土 地	7万3,638.39㎡
有価証券	9,095万円		

【表4】市債の状況 人口(9月末現在):189,706人

区 分	9月末現在高	1人当たりの現在高
一 般 会 計	905億163万円	47万7,063円
特 別 会 計	480億8,070万円	25万3,448円
合 計	1,385億8,233万円	73万511円
上記に対する利息	245億4,438万円	12万9,381円

# 市政トピックス

## 「森の案内人」の養成を開始しました

10月14日、「森の案内人」養成講座の説明会が、市徳地山村開発センターで開催され、市内外から1000人の申し込みがあったうち、71人が参加しました。森の案内人とは、「※森林セラピー基地」で、来訪者に道案内や森林内の植物などについて説明を行う人です。市担当者からの説明に、参加者は熱心にメモを取り、質問していました。



「森の案内人」養成講座説明会の様子

この説明会を受けて、82人が講座に申し込み、10月22日には第1回目の講座が開かれました。今後、平成19年3月25日まで、樹木や植物、健康増進、観光、接遇など各分野の講義や実習が行われ、4月からの森林セラピー基地

のグラウンドオープンに備えます。

市では、これに併せ、癒し体験プログラムの作成や案内板等の整備、ボランティアスタッフ「森人」の募集(12ページ参照)を進めていきます。

※森林セラピー基地：森林が持つ癒しの効果を健康づくりやリハビリテーションに役立てる森林セラピーを活用し、森林浴に適した散策道と休憩・宿泊施設等を備えた地域。徳地地域の大原湖を中心とした滑山国有林から長者ヶ原一帯の3700ヘクタールが認定を受けています。



滑山国有林の毛利藩のモミ林

市林務水産課 森林セラピー推進担当  
☎0803552112

## 公州市親善交流訪問団が来山

10月16日から18日にかけて、姉妹都市の韓国公州市から「公州市親善交流訪問団」が来山し、市内の各所を見学しました。

公募された市民からなる一行は、国宝 瑠璃光寺五重塔や修復工事中の龍福寺本堂を見学し、17日には9月に公州市を訪れた山口市訪問団員と再会し、一緒に森林セラピーやそば打ちなどを体験して、交流を深めました。

山口市と公州市は、市民間の交流を盛んにするため、毎年相互に市民訪問団を派遣しています。市では今後も、国際交流を推進していきます。



そば打ち体験で交流を深めるみなさん

市国際交流室  
☎08342725



## 秋季全国火災予防運動

11月9日(木)～15日(水)  
～消さないで あなたの心の 注意の火～

9月末現在、市内で44件もの火災が発生しています。肌寒い季節を迎え、屋内外での火の取り扱いが多くなり、火災が起こりやすくなっています。日ごろから防火に心掛けましょう。

■問い合わせ 市消防本部予防課 (☎083-932-2605)

### 1 ～住宅防火～ 命を守る7つのポイント

#### 3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対しない
- ・ストーブは、燃えやすいものから離して使用
- ・ガスこんろ等のそばを離れるときは、必ず消火

#### 4つの対策

- ・住宅用火災警報器などの設置
- ・防災寝具・防災衣類の使用
- ・初期消火のため、住宅用消火器等の設置
- ・高齢者等を守るため、近隣の協力体制の確立

### 2 放火火災予防のポイント

- ・施錠管理を確実にし、外部からの進入を防ぐ
- ・照明器具の設置等により、暗がりなくす
- ・建物の周囲を片付け、燃えやすいものを放置しない

### 3 地震時と日常における出火防止のポイント

- ・使用中の電気機器の電源を切る
- ・使用中のガス機器のスイッチを切り、ガス栓を閉める
- ・電気やガスからの出火の可能性を、日ごろから認識する



一の坂川(山口地域)

# 「景観」をみんなで作ろう

私たちの身近にある心地良い景色。つい当たり前と思ひ、知らないうちに失われつつあるその良さをもう一度見直してみませんか。

■問い合わせ 市都市計画課 (☎083-934-2831)



風の並木通り (小郡地域)



棚田 (徳地地域)



居蔵造 (阿知須地域)



草山崎 (秋穂地域)



## 「景観」ってなに？

「景観」というと、豊かな自然や歴史的な建物、きれいな町並みなど、いろいろな景色が思い浮かぶと思います。景観とは、みなさんの目に映るすべての景色のことです。

市内にも、徳地地域の「棚田」、山口地域の「一の坂川」、阿知須地域の「居蔵造」など、自然の風景や歴史に彩られた町並みなど、美しい景色が至るところにあります。



## 山口市は景観行政団体に

市では、これまでも独自に「山口市都市景観条例」を制定して、行政・市民事業者それぞれが、山口の自然や歴史などの個性を生かした良好な景観形成に努めてきました。

### 【都市景観形成地区(一の坂川周辺地区)指定制度】

指定地区内の新築・改築等の行為を届け出てもらう、地区の良好な景観形成のための基準に適合するようお願いしています。

### 【大規模建築物等の届出制度】

商業系の地域における6階以上または延床面積5000平方メートル以上の建築物の新築等について届け出てもらう、周囲の景観への配慮をお願いします。

また平成16年6月には、良好な景観形成に住民の意見を反映させるため、法的規制や規制緩和などができる仕組みを定めた景観法が施行されました。本市は平成18年5月に景観行政団体(景観法に基づいた景観行政を行う行政主体のこと)となり、より一層の支援ができるようになりました。

## みんなでの地域の魅力を再発見

町屋再生やワークショップなど、市内各地での活発な活動を通じ、景観について考える機会がたくさん作られています。10月22日には、阿知須地域で

ふだんとは少し異なる視点からまちを評価し、新しい魅力を発見する景観ワークショップを開催しました。



「地域景観ワークショップin阿知須」

各地区を歩き魅力的な景観を探し、その成果を壁新聞にまとめて発表しました。詳しくは市広報番組で放送予定(12ページ参照)

## 市民と行政が一体となって進めよう

景観の保全には、行政だけでなく、市民のみなさんの取り組みが重要となります。市では、みなさんの協力を得ながら景観計画を作り、本市の基本方針や、共通のルールを定めていきます。

また、自分たちの住む地区の合意があれば、地区の特性に応じた景観のルールを定めることも可能です。

景観についての知識を深め、みなさんの活動がより充実したものになるよう、講演会やワークショップなどを開き、積極的に支援していきます。

詳しくは、市都市計画課までお問い合わせください。





# めざすまちスタイル びとまちづくり No.12



地域に密着した地域づくりと  
視野が広い活動ができるまち

学童保育をお世話している  
(左から) 上村敦子先生、  
久保友美先生

秋穂コミュニティセンター館長  
うちだ ひろし  
**内田 宏**さん (秋穂地区在住)

秋穂コミュニティセンターの館長を務める内田宏さん。優しい口調には、話し相手の心を温かくし、また会いたいと思わせる人柄がにじみ出ています。そんな内田さんに、これからの地域のまちづくりなどについてお聞きしました。

## ■秋穂コミュニティセンターとは どのような施設ですか？

秋穂コミュニティセンターでは、主に秋穂地区の小学生対象の学童保育、二世世代交流を目的としたイベントなどを行っています。11月は干支(えと)組木細工作り、12月はクリスマス会、門松作り教室などを開催する予定です。

このセンターのイベントに参加されることで、子どもたちはお年寄りから、わら草履作りやがんげき作りなど、昔ながらの文化や伝統を習い、若いお

父さんお母さんたちは、お年寄りが持っている生活の知恵や工夫などを学びます。このセンターは、お年寄りから若い世代の人へ、文化や知識を伝承してもらう交流施設なんです。

## ■ここでの仕事でどんなことを 感じますか？

日々たくさんの方に支えられていると感じます。毎月1回、食生活改善推進協議会のみなさんが、学童保育の児童におやつを提供してくださったり、伝承グループのお年寄りが子どもたちのために工作教室を開いてく

ださったりと、大変ありがたいです。地域の方々の手助けがあるから、子どもたちもいろいろな経験をを通して素直に育ち、センターの行事がより一層盛り上がるのだと思います。

## ■これからの目標は？

このセンターを市内の方に広く利用してもらうことが、私の目標です。毎月「秋穂コミュニティセンターだより」を発行し、各総合支所や公民館、小中学校に配布していますので、ご覧になってぜひイベントにもお越しください。秋穂地域だけでやってきたイベントが、地域以外の方に来ていただくことで、今までは違った盛り上がりを見せるのではないかと思います。そして子どもたちには、ここでの活動を通して、いつまでも故郷を大切にすることを心を持ってほしいと思います。

## ■これからの地域のまちづくりに ついて、どうお考えですか？

今は旧1市4町が一つになり、地域の中で戸惑いもあると思いますが、これからはそれぞれの地域の優れた点を伸ばしたまちづくりをしていくことが必要だと思っています。

例えば、秋穂は「海」、徳地は「森林セラピー」など、合併しても変わらない地域の良さや自慢を挙げ、そこを伸ばし、特性を生かしたまちづくりを進めていくと良いのではないのでしょうか。

### まち再発見 行ってみてん来てみてん 山口市の知られざる魅力をご紹介します!

#### 秋穂地域イベント情報

##### ■11・12月の行事

- ・ 11月 4日 秋穂花まつり
- ・ 11月 5日 あいお祭り
- ・ 11月19日 浜村杯秋穂ロードレース大会
- ・ 12月28日 あいお道の駅まつり



—昨年の「あいお祭り」

#### あいお祭り

11月5日(日)、市大海総合センターグラウンドで午前9時30分から午後3時30分まで「あいお祭り」が行われます。当日は、もちまきや特産品販売、あいお鍋(無料 先着500人)、えびの塩焼きの販売、ミニSLコーナーなど盛りだくさん。4日(土)には、秋には珍しい花火大会が大海漁港で開催されます。秋穂の旬を味わえるお祭りに、ぜひお越しください!

■問い合わせ 秋穂総合支所経済課 (TEL083-984-8027)

やまぐち生活がぶちよくなる情報をお待ちしています。ボランティア取材スタッフ募集中!

企画  
編集

市民まちづくり情報センター

**やこねっと**

✉ [info@ycnet.jp](mailto:info@ycnet.jp)

( ☎083-934-2753 | 📠083-934-2643 市広報広聴課気付)





## 山口連歌の会

連絡先 事務局  
TEL 083-934-3515

代表者 おさき ちか  
尾崎 千佳



前の人の詠んだ句から情景を思い浮かべ、次の句へと詠み継ぐ流れは、慣れない言葉遣いに四苦八苦しながらも、みんなで物語を作っていくかのような楽しさがあります。先人たちと同じ場所で、彼らの言葉に思いをはせてみませんか？

市内で連歌に関する資料が大量に発見されたことをきっかけに、今年5月に発足した「山口連歌の会」。以降、その歴史や実作を学んでいます。「連歌」とは、五・七・五の十七音からなる長句と、七・七の十四音からなる短句を、大勢で詠み継いでいく、日本固有の詩歌の一形式です。室町時代に大内氏によって守り育まれた結果、連歌は山口で盛んに行われ、江戸時代になっても愛好されていたようです。

会では、連歌という山口の誇るべき文化の伝統や精神を受け継ぎ、再び連歌を甦らせようと、まずはその学習に励んでいます。8月には防府天満宮で初めての連歌会を興行し、11月11日(土)には「国民文化祭・街なか生活文化祭 アートふる山口」でも学習の成果を披露します。これからも、もっとたくさんの方が連歌に親しめるよう、活動を進めていきます。



### 主な活動内容

- ・ 連歌についての学習 (主に「やまぐち街なか大学」にて)
- ・ 連歌実作活動

### 山口連歌の会「甦る連歌」開催

11月11日(土) 午後1~5時  
市菜香亭大広間 (入場無料)  
ぜひ実際に、連歌の魅力に触れてみてください。

## さぼらんて情報

### 第3回ドネーションパーティー ~あなたもまちの応援団~

11月23日(木・祝) 午前10時~午後4時  
そごう2階「もよおし場」(さぼらんて向い)

市民活動団体への寄付を募るイベント。市民大交流会や市民活動PRキャンペーンなど。詳しくは、さぼらんてや公民館などで配布中の「ドネパ通信」をご覧ください。ただ今さぼらんてで、ドネーション応援券(100円)受付中!



「まちグル」とは、まちで活躍する市民活動グループのことで、やこねっとの造語。みなさんも「まちグル」のグルになってみませんか？



## 串老人作業所「ゆめ工房」

連絡先 TEL 0835-54-0366 (ゆめ工房・木曜日のみ)  
0835-54-0744 (谷様方)

代表者 たに つとむ  
谷 勉



「国民文化祭・里山文化祭」では、竹とんぼやミニ花台などの作り方を教えます。気軽に声を掛けてくださいね! 若い人たちと一緒に作品制作もしてみたいですね。興味がある方は、遠慮なくご連絡ください。

昭和59年に徳地串地区が「老人生きがい対策事業モデル地域」として県から指定を受け、老人作業グループ活動促進事業に取り組んだことをきっかけにできたグループです。メンバーは串地区に住む平均年齢75歳の12人。木造平屋建て162平方メートルの作業所「ゆめ工房」で作業し、食事とおやつの時間には輪になって、各々の近況報告をするなど、和気あいあいとした雰囲気です。現在は、花台や脱臭効果がある竹炭俵などを制作しています。約800年前に東大寺再建のために切り出されたと伝えられる切り株「埋もれ木」で作った大きなオブジェは、とても迫力がある珍しいものです。また、竹鉄砲



などのおもちゃを作る体験イベントは、いつも子どもたちに大人気! これからも手作りを通して、子どもたちに自然の中での遊びを伝えることや、それぞれの創作活動を楽しんでいきます。

### 主な活動内容

- ・ 定例作業日: 毎週木曜日午前8時~午後5時 (販売有)
- ・ ルーラルガイドとしての体験交流イベントの実施
- ・ 串小学校でふるさと学習の実技指導 (7・12月)
- ・ 特産品の開発と販路拡大

### わらや竹を使った制作体験交流会

11月18日(土)・19日(日) 午前9時~午後4時 重源の郷  
一緒に自然のおもちゃを作りましょう!

### NPO運営研修会「NPO法の解釈」

11月28日(火) 午後1時30分~3時30分  
サンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22) **参加無料**

村林康彦氏(山口NPOオフィス担当)を講師に迎え、「特定非営利活動促進法」の理解と解釈、法人化のメリット・デメリットを整理していきます。  
※託児・手話有(無料 要予約)

# お知らせ

## 老齢福祉年金を 受給している方へ

平成18年12月期の老齢福祉年金の支払いが、11月10日(金)から始まりま  
す。国民年金証書と受取印を持って、  
指定の郵便局で受け取ってください。  
12月期は、年金受け取り後の年金証  
書の提出は必要ありません。証書は、  
平成19年4月の支払いまで、大切に保  
管してください。

- 問** 市保険年金課 (☎0833・934・  
28002)、各総合支所市民課▽小  
郡 (☎0833・973・8132)▽  
秋穂 (☎0833・984・8002)  
▽阿知須 (☎0833・65・  
4113)▽徳地 (☎0833・5  
2・1113)

## 国民健康保険被保険者 証等の更新を行います

現在お使いの国民健康保険被保険者  
証・退職被保険者証の有効期限が、11  
月末までになっているため、更新を行

います。  
新しい被保険者証は、一般の被保険  
者証がクリーム色、退職被保険者証が  
あざぎ色になります。

※新しい被保険者証は、11月中旬に配  
達記録郵便でお届けしますので、届  
き次第お使いください。

その際、旧被保険者証は、細かく切  
るなど、各自で処分をお願いします。  
※11月末になっても被保険者証が届か  
ない場合は、お問い合わせください。  
遠隔地被保険者証(通称「マル遠」)  
新たに申請が必要ですので、新しく  
届いた被保険者証を持って、各総合  
支所・出張所の窓口でお手続きくだ  
さい。

なお、対象者が学生の場合は、在学  
証明書(原本)が必要ですが(学生証  
は不可)。  
住民票が山口市にない学生の被保険  
者証(通称「マル学」)

現在、更新申請済みの方には、11月  
中旬に世帯用被保険者証と一緒に新  
しいマル学の被保険者証を郵送しま  
す。手続きがお済みでない方は、早  
めにお手続きください。  
手続きをしなければ、12月1日から

● 山口総合支所	〒753・8650	● 龜山町2・1	0833・922・4111
● 小郡総合支所	〒754・8511	● 小郡下郷609・1	0833・973・2411
● 秋穂総合支所	〒754・1192	● 秋穂東6570	0833・984・2121
● 阿知須総合支所	〒754・1292	● 阿知須2743	0833・65・4111
● 徳地総合支所	〒747・0292	● 徳地堀1744	0833・52・1112

◆ **いずれも**  
無保険の状態になります。手続きに  
は、在学証明書(原本)が必要で  
(学生証は不可)。

特別の理由もなく保険料を滞納して  
いる場合、被保険者証が郵送ではな  
く窓口交付になる場合があります。  
窓口交付の方には、別途通知しま  
すので、所定の手続きをお願いします。

- 問** 市保険年金課 (☎0833・933  
4・28001)、各総合支所市民課  
▽小郡 (☎0833・973・813  
1)▽秋穂 (☎0833・984・8  
022)▽阿知須 (☎0833・6  
5・4113)▽徳地 (☎0833・  
52・1113)

## ご利用ください 「年金相談窓口」

年金相談の平日の相談  
時間を延長し、休日の相  
談窓口を開設します。  
併せて、国民年金保  
険料の納付相談も行っ  
ています。



【平日の相談時間延長：午後7時まで】  
相談日 11・12月の毎週月曜日  
【休日相談日：午前9時30分～午後  
4時】

相談日 11月11日(土)、12月9日(土)  
**所問** 山口社会保険事務所(吉敷32  
45・10▽年金相談：☎0833・9  
22・5664▽納付相談：☎0  
833・922・5662)

## 住民基本台帳の閲覧 制度が変わりました

11月1日の「住民基本台帳法の一部  
を改正する法律」施行により、住民基  
本台帳の閲覧は、公益性の高いものに  
限定されます。

詳しくは、各総合支所市民課までお  
問い合わせください。

- 問** 各総合支所市民課▽山口 (☎08  
33・934・2769)▽小郡 (☎  
0833・973・8134)▽秋穂  
(☎0833・984・8022)▽  
阿知須 (☎0833・65・411  
3)▽徳地 (☎0833・52・1  
113)

**市環境施設課の事務所が移転しました**

市環境施設課の事務所が、10月30日に下記へ移転しました。

【新所在地】大内御堀496(市清掃工場内) ☎083-941-2151 庶 ☎083-927-1530

**市民交通計画策定に向け「地域検討会」開催中**

市では、地域の交通の実情をきめ細かく伺い、より良い公共交通のあり方について、地域のみならずと一緒を考える「地域検討会」を開催しています。

期日	対象地区	場所
11/ 9(木)	嘉川、佐山	嘉川公民館
11/10(金)	陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島	名田島公民館
11/15(水)	仁保、小鯖、大内	大内公民館
11/16(木)	宮野、大殿、白石、湯田	大殿公民館
11/17(金)	吉敷、平川、大歳	大歳公民館

山口地域では、下表の日程で開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

**平成17年版統計年報を販売しています**

人口、産業、経済、教育・文化、社会福祉、医療・衛生など、山口市についての基本的な統計データを集録しています。仕事や学習等に、活用ください。

■サイズ等 A4版 32ページ  
■価格 2000円

■お問い合わせ 市情報管理課統計調査室(山口総合支所3階) ☎083-934-2748

**新成人のみなさんへ**

平成18年度の成人式を、山口・小郡・秋穂・阿知須・徳地地域の合同で開催します。案内状は、11月1日現在の住民基本台帳を基に送付します。



他市町村に住み登録があり、参加を希望される方は、ご連絡ください。

■日時 平成19年1月7日(日) 午後2時から

■場所 県立きららスポーツ交流公園 多目的ドーム(阿知須509・50)

■対象 昭和61年4月2日〜昭和62年4月1日の間に生まれた方

※市内各地より送迎バスを運行します。利用希望者は、11月30日(木)までにご連絡ください

(片道のみの利用も可)。

詳細は、利用希望者に別途通知します。

※下表の通り、各地域・地区別に記念

記念写真撮影の時間等

時間	対象地域・地区	撮影場所
12:00	徳地	市徳地文化ホール
12:15	名田島、嘉川、佐山、阿知須	県立きららスポーツ交流公園 多目的ドーム
12:30	陶、鑄銭司、秋穂二島、秋穂	
12:45	湯田、吉敷、大歳、小郡	
13:00	宮野、大殿、白石、平川	
13:15	仁保、小鯖、大内	

**皇太子殿下 行啓のお知らせ**



平成13年「山口きらら博」ご視察中の皇太子殿下

11月3日(金・祝)、4日(土)、皇太子殿下が「国民文化祭・やまぐち2006」開催に併せたご視察のため、山口市へ行啓されます。

右表のルートのうち、あらかじめ該当の町内会等へ回覧でお知らせしてある奉送迎の場所では、お召し車が徐行されます。

当日は混雑が予想されますので、警察官等の指示に従ってください。

■問い合わせ 市総務課 (☎083-934-2908)

■行啓ルート ※場所は、奉送迎していただく場所と若干異なります。時刻は、おおむねの目安です。

11月3日(金・祝)			
時刻	場所	時刻	場所
	(宇部市 → 山口宇部有料道路 → 国道2号 → 県総合交通センター付近 → 国道9号)		湯田小前
			中原中也記念館前
		12:30	ホテルニュータナカ
9:20	山口県JA会館本部前	14:40	中原中也記念館(ご視察)
	小郡総合支所前	16:10	ホテルニュータナカ
	山口県国保会館前		県総合保健会館前
	県総合庁舎前		国道9号
	山口大学附属山口小前		県児童センター前
	市中央駐車場前	16:20	山口県国保会館前
	市民会館前		中領交差点
	早間田交差点		小郡総合支所前
10:20	県立美術館(ご視察)		県総合交通センター前
12:00	パークロード(「国文祭オープニングパレード」に賛)		(県道山口宇部阿知須線<きらら道路>)
	市中央駐車場前	17:00	道の駅「きらら あじす」前
	山口大学附属山口小前		きらら元気ドーム(開会式ご臨席)
	防長青年館前		(→ 宇部市)

11月4日(土)			
時刻	場所	時刻	場所
	(宇部市 → 山口宇部有料道路)		道の駅「あいお」前
8:30	佐山ハピテーション前		幸崎公園前
	幸崎公園前		佐山ハピテーション前
	道の駅「あいお」前		(山口宇部有料道路)
	(防府新大橋 → 防府市)	11:30~13:00	宇部72アジススパホテル
	(防府市 → 防府新大橋)		(山口宇部有料道路 → 宇部市)

写真の撮影を行います。バスは、撮影の30分前に成人式会場に到着予定です(徳地地域を除く)。

☎083-934-2886

小郡(☎083-973-0633)  
▽秋穂(☎083-984-213)  
2) ▽阿知須(☎083-6-65-  
2022) ▽徳地(☎083-5-5  
2-0217)

**11月は「児童虐待防止推進月間」**

虐待されている子どもには、早急な対応が必要です。もしやと疑いを持ったときは、ご連絡ください。  
**■市家庭児童相談室**(山口総合支所1階 福祉総合相談窓口内 ☎083-934-2896 または ☎083-934-2897)

**市都市緑化祭、市花いっぱいフェスティバル**

**日時** 11月11日(土)午前9時から  
**場所** 亀山公園ふれあい広場  
**内容** もちまき、花壇コンクール優勝団体表彰式、レモンの苗木販売(整理券を午前8時30分から本部前で配付)、メダカ・エビ無料配付(先着順)、花木のせり市、クイズ大会 など  
**問** 市都市計画課(☎083・934・2832)、市生涯学習課(☎083・934・2886)

**森を舞台に夢を語り活躍する「森人」になりませんか**

「森林セラピー」に一緒に取り組み、新たな森づくりにチャレンジするボランティアスタッフ「森人」を募集します。応募者を対象に、第1回座談会を12月3日(日)午後1時から市徳地山村開発センター(徳地堀1533)で行います。  
**活動内容** 癒し体験プログラム(イベント)の企画・運営、森林内の憩いの場づくり、広報宣伝活動ほか  
**対象** 18歳以上の方(高校生を除く)  
**申** 11月24日(金)までに、直接または電話、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、市林務水産課森林セラピー推進担当(徳地総合支所 ☎0835-521-1122)

FAX 0835-521-1124  
 ✉ rimm@city.yamaguchi.lg.jp

**小郡図書館の司書(臨時職員)を募集します**

**任用期間** 12月1日〜平成19年3月31日(2年を限度に継続可)  
**業務内容** 図書館の専門的業務、その他図書館運営業務の補助  
**勤務形態** 月14日以内  
**対象** 図書館司書資格を持ち、ワード、エクセル、情報検索などのパソコン操作ができる市民1人  
**申** 11月17日(金)までに、直接または郵送で、市販の履歴書に必要事項を記入、写真を貼付、司書資格書の写しを添付の上、小郡図書館(〒754-0002小郡下郷609・☎083・973・0098)

**平成19年4月採用予定 自衛隊生徒募集**

**応募資格** 中学校卒業(見込可)で、17歳未満の男子  
**試験日** 平成19年1月13日(土)  
**試験会場** 防府北基地(防府市田島)  
**試験科目** 国語・社会・数学・理科・英語(択一式)、作文(500字程度)  
**申** 平成19年1月9日(火)までに、自衛隊山口募集案内所(☎083・025・8230)

**ご覧ください 山口市の広報番組 11月の放送予定です**



3コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

**山口ケーブルビジョン (12チャンネル)**

曜日	11/1(水) ~15(水) ①	11/16(木) ~30(木) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」「ごっぼう ええのお～」のみの放送(20分)

**「このまちに愛たい」(20分)**

- ① 世界につながる交流の輪
- ② 「食べる」を学ぼう ~食育推進ボランティア~

**「infoやまぐち」(10分)**

1週間更新で、市からのお知らせを放映  
**「ごっぼう ええのお～」(10分)**  
 市内のいいモノ、ヒト、トコロなどを「ごっぼう」楽しくご紹介します。

**山口朝日放送 (YAB)**

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送

- 1日「国際交流してみま専科?」
- 8日「わがまちのお宝発見ツアー」(阿知須)
- 15日「ご存知ですか?在宅緩和ケア」
- 22日「ふるさと歴史散歩」
- 29日「楽しく正しくウォーキング」

**私たちのまち**



主に市政および市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

**テレビ山口 (TYS)**

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

- 5日 「山口市菜香亭で連歌の世界を味わいませんか」
- 12・19・26日「国民年金保険料について」

**ラジオ番組**  
Radio Program



**シティ・インフォメーション**

**FM山口** 毎週月・金曜日の午前9時26分から4分間放送

**やまぐちマイタウン**

**山口放送 (KRY)**  
毎週木曜日の午後1時40分から5分間放送

11月11日～17日は「税を考える週間」

税の意義や役割を認識し、税のあり方について考えてみましょう。

■問い合わせ 山口税務署(☎083-922-1340)

山口市公営施設管理  
公社職員・臨時職員募集

■応募資格 職員：昭和21年4月2日以降生まれの定年退職者(平成19年3月末日までの退職予定者・退職勧奨者等含む) / 臨時職員：年齢不問

◆いずれも

採用予定日 平成19年4月1日

採用予定人数 若干名

業務内容 公共施設の管理業務

■申請 11月17日(金)までに、市販の履歴書に必要事項を記入、写真を貼付、押印、資格・技能等を持つ方は記入の上、本人が直接山口市公営施設

設管理公社(中央五丁目14・22市役所別館3階 ☎083・928・7899)

求職者のための就職支援  
パソコン上級講座

アクセスの基本操作を学びます。

■日時 12月5日(火)～14日(木)の間の毎週火・木・土曜日午前9時～正午

■場所 サンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5・22)

■対象 ワード・エクセルの操作を習得している求職中の市民20人(学生を除く 応募者多数の場合抽選)

第21回 国民文化祭・やまぐち2006

チケット情報

いよいよ11月3日(金・祝)に開幕する「第21回国民文化祭・やまぐち2006」の舞台公演を見ることが出来るチャンスは、あとわずかです!どうぞ早めに、お買い求めください。

★演劇祭(現代劇)オリジナル創作劇  
座やまぐち「トライアングル」

★日時 11月4日(土)午後6時30分～8時30分/5日(日)午後1～3時

★料金 一般1,000円、中高生500円

★ファッションフェスティバル  
パート フォームーン  
モーリ・マスク・ダンス Part12「BLUE MOON」

★日時 11月10日(金)午後5時30分～6時30分/午後7時30分～8時30分

★料金 一般1,000円、中高生500円、小学生無料 ※未就学児は入場不可

◆いずれも

★場所 山口情報芸術センター(中園町7-7)

★発売 山口情報芸術センター(☎083-901-2222)、C・S赤れんが(☎083-928-6666)、ラグタイム(☎083-925-6843)ほか

★託児 無料(未就学児対象 要事前申込)

★問い合わせ 第21回国民文化祭山口市実行委員会(☎083-934-2904・2892)

重要文化財 龍福寺本堂  
保存修理現場見学会

現在工事中の国指定重要文化財「龍福寺本堂」の保存修理現場を、技術担当者の説明を聞きながら、間近に見学します。

参加は無料です。

■日時 11月18日(土)午前10時、午後1時(各回約1時間)

■場所 龍福寺境内(大殿公民館北)

※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください(市「コミュニティバス」「八坂神社前」「日赤病院院西口」から各徒歩5分、防長バス「野田学園前」から徒歩10分)。

■定員 各回30人(応募者多数時抽選)

■申請 11月13日(月・必着)までに、八ガキまたはEメールで、参加者(4人まで申込可)全員の氏名、代表者の〒住所・氏名・電話番号、希望時間を明記の上、市文化財保護課(〒753・0073 春日町5・1 ☎083・920・4111)

☐bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp

市菜香亭 第4回体験  
づくりの会「お茶席体験」

初心者を対象に、自宅で気軽に抹茶を楽しむ方法を教えます。

■日時 11月25日(土)午後1～3時

■定員 15人(先着順)

■参加費 無料

■所申請 電話で、市菜香亭(天花一丁目2・7 ☎083・934・3312)

中央図書館3周年記念  
子どもの読書推進講演会

人気絵本作家 五味太郎氏による「絵本の楽しみ方」についての講演です。

お子さんと一緒に、新たな絵本の世界の扉を開きませんか?

■日時 12月10日(日)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

※講演後、会場での絵本購入者を対象にサイン会を行います。

■場所 山口情報芸術センタースタジオA(中園町7・7)

■対象 絵本や読書に興味のある方 400人(先着順)

■受講料 無料 ※託児有(無料)

■申請 11月9日(木)午前10時から、電話で中央図書館(☎083・901・1040)

※申込受付後、整理券を発送します。



## 家庭教育講座 「子育てマナビイ」



子育て中のお母さん、一緒に子どもに  
ついて学びましょう。受講は無料です。

日時	演題	講師(敬称略)
11月20日(月) 13:00~14:30	「こんな時、 どうするの?」	はまもと小児クリニック 医師 濱本史明
11月27日(月) 10:00~11:30	「リトミックって、 すご〜い!!」	リトミック研究センター 支局長 生田尚子
12月6日(水) 10:00~11:30	「子どもと笑顔で 明日に向かおう!!」	県立大学社会福祉学部 教授 赤羽潔

- 場所 佐山公民館
- 対象 未就園児とその保護者20組(先着順)
- 託児 無料(要予約)

【申問】11月6日(月)から、電話で市  
生涯学習課(☎083・934・  
2865)

## あつまれ!すくすく 秋穂っ子「おやこたいそう」

インストラクターの指導を受けなが  
ら、親子で楽しく体を動かしましょう。  
【日時】11月15日(水)午前10時~  
11時30分

■対象 未就園児とその保護者20組程  
度(先着順)

■参加費 300円

【所申問】11月10日(金)までに、電話  
で市秋穂保健センター(秋穂東6  
570 ☎083・984・8003)

## 第2回とくち すくすくミニ運動会

楽しみながら、友だちをつくりましょ  
う。徳地域域以外からの参加も大歓迎  
です。ご家族みんなでどうぞ。

【日時】11月19日(日)午前10時~午  
後1時(午前9時30分から受け付け)

【場所】市徳地体育館(徳地堀1537)

【内容】泣き相撲、パン食い競争、子  
ども用品リサイクルコーナー、野菜

たつぷり料理の試食会など

【対象】平成15~18年生まれの乳幼児  
とその家族200人程度(先着順)

■参加費 無料

■持参品 室内シューズ、タオル

■託児 無料(当日受付)

【申問】11月10日(金)までに、直接ま  
たは電話で徳地総合支所健康福祉  
課(☎0835・52・1121)

## 生活習慣病予防のため の市民公開講座

「市民が健康に暮らすには」をテーマ  
に、医師・栄養士・健康運動指導士  
らが講演します。受講は無料です。

【日時】11月19日(日)午後1時30分  
~午後3時30分

【内容】講演会:「メタボリックシン  
ドロームを理解しよう」「歯周病も  
生活習慣病です!」「内臓型肥満を  
解消するための食事とは?」「生活  
習慣病予防のための運動」/医師等  
専門スタッフによる個別健康相談:  
午後1時30分から(予約制)

【定員】120人(先着順)

【受講料】無料

【所申問】電話で、市保健センター(糸  
米二丁目6・6 ☎083・921・  
2666)

## 小郡保健福祉センター の各種講座

### 健康管理教室

「インフルエンザについて」

流行する季節に備え、予防・診断・治  
療のポイントを専門医から学びます。

【日時】11月28日(火)午後1時30分~  
3時

【講師】河端聡医師(河端内科医院)

【対象】市民50人(先着順)

【受講料】無料

【持参品】筆記用具

【申込期限】11月24日(金)

【離乳食スタート講座】

赤ちゃんの個性を大切に育みなが  
ら、離乳を二歩ずつ進めていきましょう。

【日時】12月1日(金)午後1時30分  
~3時

■対象 生後2~5カ月の乳児とその  
保護者16組(先着順)

■受講料 無料

■申込期間 11月2日(木)~30日(木)

【さしすせそクッキング】「うす味でも  
おいしく」高血圧症予防

生活習慣病予防に、おいしく塩分を  
減らす調理法を学びましょう。

【日時】12月5日(火)午前9時30分  
~午後1時

【対象】市民30人(先着順)

【受講料】300円

【持参品】エプロン、三角巾、筆記用具

【申込期間】11月2日(木)~28日(火)

【いづれも】

【所申問】電話で、市小郡保健福祉セ  
ンター(小郡下郷609・5 ☎0  
83・973・8147)

## 市民健康講座 「知っちゃうる会」



子どもの急な病気やけがへの不安や  
心配ごとなど、みなさんの質問に小児  
救急医療の専門医がお答えします。

【日時】11月18日(土)午後2~4時

【場所】県総合保健会館(吉敷332  
5・1)

【定員】500人

【参加費】無料

【託児】無料(要予約)

【申問】事務局(山口赤十字病院内 ☎0  
120・531・243

※携帯電話からはつながりません)



# 増え続ける「燃やせるごみ」

ごみを減らし、環境に優しい住みやすいまちにするために、増え続けている「燃やせるごみ」について考えてみましょう。

**現在、焼却しているごみの量**

市清掃工場では、山口・小郡・秋穂の各地域と、処理委託を受けている阿東町の可燃ごみを焼却しています。市内での資源物のリサイクルは順調に進んでいます。一方で依然として「燃やせるごみ」の量は、増えています

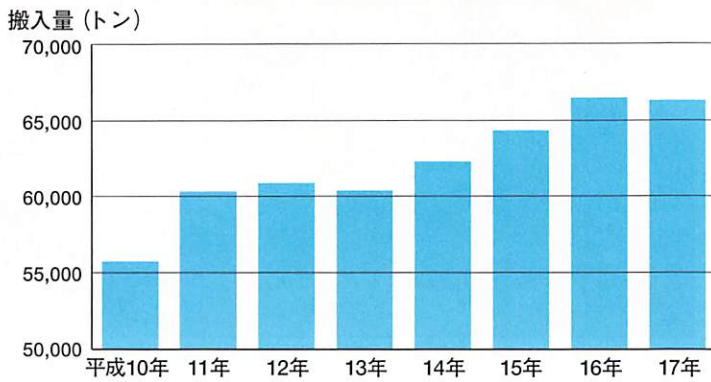
**このまま増え続けるとどうなるの？**

今のペースで燃やせるごみが増え続けると、そう遠くない将来、市清掃工場の焼却能力の限界を超え、処理しきれなくなります。

**焼却しているごみの実態**

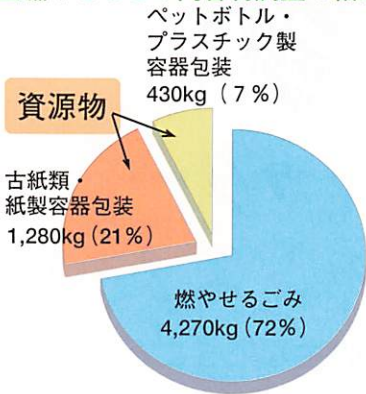
市では、焼却しているごみの実態を把握するため、本年5月に家庭から出されたごみについて調査を行いました。山口地域16地区のごみステーションに出された、燃やせるごみ5980キログラムについて中身を分類したところ、その中の約3割を資源物が占めていました「グラフ2」。まだまだ資源化できるものが、多く混入しています。

【グラフ1】市清掃工場の年間搬入量の推移



【グラフ2】

■燃やせるごみ内容物調査の結果



■燃やせるごみ内容物調査の一例



実際に燃やせるごみ内容物調査の一例

実際に燃やせるごみ内容物調査の一例



「燃やせるごみ」の量が  
半分に減りました



**燃やせるごみを増やさないためには？**

これ以上、燃やせるごみを増やさないためには、しっかりとごみの分別を行うことが大切です。

ごみを捨てる前に、リサイクルできるものがないか、もう一度確かめてみましょう。

【資源物の持ち込みは無料です】

市の行う定期的な収集のほか、無料で資源物を持ち込める「市リサイクルプラザ」や「周布町資源物ステーション」、各地域のストックヤードなどの施設があります。

市の施設については、「ごみ・資源収集カレンダー」、市ホームページをご覧ください。最寄りの総合支所にお問い合わせください。

【事業者の方へ】

事業者の方も登録を行うと、市の施設に無料で資源物を持ち込むことができます。(周布町資源物ステーションを除く)。登録については、事前にお問い合わせください。

■問い合わせ 市ごみ減量推進課

(☎0883-934-2777)、小郡総合支所環境衛生課(☎0883-973-8136)、その他の各総合支所市民課▽秋穂(☎0883-9984-8002)▽阿知須(☎08836-65-4113)▽徳地(☎0883-5-522-1113)

## 大きくなって帰ってきてね!

車えび養殖発祥の地として名高い秋穂地域で「えび供養祭」が行われました。秋穂のえびをPRすると共に、えびへの感謝を表し、豊漁を願い始められたもので、今年で7回目となりました。漁協やえびを扱う飲食店・販売業者などが出席し供養法要を営んだ後、会場を中道海水浴場に移し市内の保育園児と一緒に車えび約250匹を放流しました。(10月19日)



## 山口市の恵みをまるごとぺろり!

阿知須きらら浜で行われた「きらら物産交流フェア」。山口市の魅力をPRしようと、市内の各商工会・商工会議所・市が合同出店した物産や味覚のブースは、どこも長い列ができました。阿知須名物「あじすジャンボ釜」を使った「合併鍋」の販売では、1時間余りで2,000人が山口市の幸いっぱい鍋をおいしく平らげました。(10月14日)

## 漂泊の俳人をしのんで

漂泊の俳人 種田山頭火の命日に当たるこの日、小郡の其中庵で「山頭火をしのぶ会」が開かれました。67回忌の今年は、約20人が集まり、「寝牛の碑」の前で読経や献句、朗詠を行いました。その後、日本酒を句碑に掛け、酒と旅を愛した山頭火をしのびました。(10月11日)



「体育の日」のこの日、市内各地でスポーツの大会や教室が開かれ、多くの人でにぎわいました。写真は、市徳地体育館で行われた「徳地ハウンドテニス教室」の一場面。大人から子どもまで約40人がラリーを楽しみ、さわやかな汗を流しました。(10月9日)

## スポーツの秋を楽しむ







**枝豆**を探るお手伝い 楽しいなあ♪

県内有数の大豆の産地 名田島地区をPRしようと、枝豆の収穫を体験する「名田島えたまめフェスタ」が行われ、家族連れなどでにぎわいました。引き抜いた枝豆の葉を落としては、事前に渡された1メートルのひもいっぱいにしぼり、収穫の喜びを満喫した参加者は、あちこちで笑顔の輪を咲かせていました。(10月1日)



## 徳地の自然を満喫！飯ヶ岳登山

さわやかな秋空の下、徳地地域で飯ヶ岳登山が行われました。参加者は、この山特有の珍しい植物に目を丸くし、登山の疲れを癒してくれる木漏れ日に心地良さそうにしていました。下山後、参加者は大原湖キャンプ場で「重源汁」のもてなしを受け、徳地の秋を満喫しました。(10月9日)



## 色鮮やかな「ひなもん」作り

阿知須地域全体を博覧会場に見立て、各所に散在する名所・観光地をパビリオンとして巡る「阿知須まるごと博覧会」の一コマ。商店街にほど近い真重邸では、ひなもんの制作体験が行われました。金魚や飾り玉などきれいな意匠の型紙が用意され、阿知須の新しい名物となったひなもん作りに、多くの方が挑戦していました。(10月1日)

## 国際交流で「みんなともだち」

子どもたちにいろいろな国の人たちと交流し、国を越えた交流を肌で感じてもらうと、秋徳地域で「みんなともだち大地の恵み in AIO」が開催されました。県内のALT（外国語指導助手）や市内の親子連れなど約80人が参加し、芋掘りや竹のおもちの制作、もちつきなどを楽しみながら、交流を深めました。(10月14日)



# イベントカレンダー



※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)		第11回雪舟サミット (山口) 市文化振興課 (☎083-934-2717) 国民文化祭・里山文化祭(～12日) (徳地) 市実行委員会 (☎0835-52-0217)		やまぐち伝承ものづくり祭り (～12日) (山口) 山口ふるさと伝承総合センター (☎083-928-3333)
11/3 (金・祝)	<b>企画展「大内氏と山口」</b> (～12月24日) (山口) 市歴史民俗資料館 (☎083-924-7001)	4 (土)	<b>国民文化祭・雪舟と文化維新</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)	11 (土)	<b>ルーラル315・376フェスタ</b> (～12日) (山口・徳地) 市農業振興課 (☎083-934-2816) 徳地総合支所経済課 (☎0835-52-1117)
	<b>国民文化祭・オープニングパレード</b> (山口) 県実行委員会 (☎083-933-2880)		<b>国民文化祭・全国吟詠剣詩舞道祭</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)		<b>国民文化祭・日本舞踊祭</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)
	<b>国民文化祭・開会式オープニングフェスティバル</b> (阿知須) 県実行委員会 (☎083-933-2880)		<b>国民文化祭・文芸祭「現代詩」</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)		<b>国民文化祭・閉会式グランドフィナーレ</b> (阿知須) 県実行委員会 (☎083-933-2880)
	<b>国民文化祭・メディア芸術祭(～12日)</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2904)		<b>山口市徳地フェスティバル2006</b> (徳地) 実行委員会 (☎0835-52-0026)		<b>図書館まつり</b> (山口) 中央図書館 (☎083-901-1040)
	<b>国民文化祭・街なか生活文化祭アートふる山口(～12日)</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2904)		<b>あいお祭り</b> (秋穂) 秋穂総合支所経済課 (☎083-984-8027)		<b>秋祭り(～19日)</b> (徳地) 重源の郷 (☎0835-52-1250)
	<b>国民文化祭・ファッションフェスティバル(～5日・10～12日)</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2904)		<b>国民文化祭・文芸祭「俳句」(～11日)</b> (小郡) 市実行委員会 (☎083-973-7071)		<b>創造の森 秋のイベント</b> (山口) 市林務水産課 (☎083-934-2819)
	<b>国民文化祭・美術展(日本画・洋画)(～12日)</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)		<b>文書館デイズ「御厨形様(おやかたさま)の文書」(～12日)</b> (山口) 県文書館 (☎083-924-2116)		<b>あじすふれあいまつり</b> (阿知須) 実行委員会 (☎0836-65-2129)
	<b>おごおり文化祭(～4日)</b> (小郡) 実行委員会 (☎083-973-0638)		<b>田主丸植木まつり&amp;JA全農やまぐち園芸まつり(～30日)</b> (山口) 全農山口県本部 (☎083-973-3802)		<b>山口天神祭</b> (山口) 古熊神社 (☎083-922-0881)
	<b>いつでもアートふる山口「尾崎眞吾水彩画・ポスター画・鉛筆画展」(～21日)</b> (山口) 大路ロビー (☎083-920-9220)		<b>紅葉祭り(～12日)</b> (徳地) 重源の郷 (☎0835-52-1250)		<b>ウォークラリー大会</b> (山口) 市スポーツ振興課 (☎083-934-2874)
	<b>あいお花火まつり</b> (秋穂) 秋穂商工会 (☎083-984-2738)				<b>やまぐち夢づくり交流会2006</b> (山口) 市商工振興課 (☎083-934-2813)
<b>国民文化祭・演劇祭(現代劇)(～5日)</b> (山口) 市実行委員会 (☎083-934-2892)		<b>ヘルシーウォーキング口保</b> (山口) 市スポーツ振興課 (☎083-934-2874)			
4 (土)					



山口市長 渡辺純心

今月、いよいよ始まる「国民文化祭・やまぐち2006」。市内でも今年没後500年を迎えた画聖 雪舟にちなんだシンポジウムなど、さまざまイベントが行われます。4日に開催される「第11回雪舟サミット」では、全国各地の画聖ゆかりの自治体が、地域の特色を生かしたまちづくりの成果などを発表し合います。

参加自治体のほとんどが合併を経験し、その顔ぶれも大きく変わりました。先日、そのうちの、本市と同じく昨年

市政あれこれ

合併した総社市の市長さんとお話したところ、これまで交流する機会のなかった地域の方との交流を大変楽しみにされていました。

たくさんアイディアを持ち、自由な発想で自然を描いた雪舟。彼の優れた絵を鑑賞しながら、彼に導かれた多くの方と交流を深めようと思います。当日、会場でみなさんとお会いできるのを楽しみにしています。